

# 萩ジオパーク

萩ジオパーク推進協議会

| 2026年1月1日発行 |

〒758-0041

山口県萩市大字江向602 萩・明倫学舎本館2階

☎ 0838-21-7765 ☎ 0838-25-7767

✉ geo@city.hagi.lg.jp

🌐 <https://hagi-geopark.jp>

📘 <https://www.facebook.com/HagiGeoProject>

📷 @hagi\_geopark



## 推進協議会だより vol.130

新年あけましておめでとうございます。  
今年もよろしくお願ひします。



昨年の萩ジオパークの皮切りといえ、かつて白井専門員が萩焼や見島に関する資料提供や取材協力をさせていただいた伊与原新さんの短編小説「夢化けの島」を含む「藍を継ぐ海」が、1月15日に発表された第172回直木賞に選ばれたことでしょう。受賞を記念し、5月に伊与原さんを萩にお迎えして講演会やツアー等を行ったことを機に、多くの人々の中で大地の成り立ちと萩の伝統文化がつながりました。

ほか、昨年は協議会主催の行事や講座、出展、授業などを年間通じて多数行いましたが、中でも夏休みの菊ヶ浜や虎ヶ崎での体験プログラムを本格的な野外調査「フィールド・ラボ」にアレンジしたところ人気を博し、新しいニーズが見えてきたところです。

目下協議会で調整しているのが、萩ジオパーク全体の次期（令和8～11年度）基本計画です。約20名の萩ジオパーク関係者が昨年8月の「活動交流会」で交流したり今後の活動について意見交換したことに続き、11月の「計画検討会」にて、地域の人々の暮らしを取り巻く環境をよく観察し、環境の変化に対処したり調和的な暮らしや産業のあり方を見出す上で、各自がどのように関われるかを論議しました。現在、その結果を協議会事務局で取りまとめると共に追加の協議や検討・調整を進めており、2月頃の定期総会で次期基本計画案をお示ししたいと考えています。

さらに年度が変わりますと、日本ジオパークへの加盟認定以来2度目の再認定審査を迎えます。地域の経済活動を支援する方策の検討・推進や、拠点施設やウェブサイトでの可視性の向上など、前回の再認定時の指摘事項を踏まえ、準備や対応をしっかりと行っていきたいと考えています。

本年も皆さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げますと共に、この重要な年の取り組みを共に進めていただきますよう、どうぞよろしくお願ひいたします。

萩ジオパーク推進協議会事務局

# 活動レポート

11月から12月にかけて、萩ジオパークではイベント出展、ツアー対応、大学公開講座、学校での理科授業など、多様な行事に対応しました。地学を軸としながら、観光や文学、教育へと活動の幅が広がっていることを実感する1か月となりました。

11月16日、お隣Mine秋吉台ジオパークの秋吉台で開催された「Mineジオフェス」で、イベント出展の定番プログラムとなっている「地形模型をつくろう」を、秋吉台バージョンで実施しました。カルスト台地の地形をかたどった模型に色をぬりながら、秋吉台の成り立ちや特徴を楽しく学んでもらいました。

11月17日、萩市観光協会主催の見島ファムツアー（旅行会社向けの視察ツアー）に対応しました。直木賞受賞作『藍を継ぐ海』に収録された短編「夢化けの島」の舞台を巡る、いわば“聖地巡礼”としての位置づけで、旅行会社の方に見島の風土や大地の成り立ちを紹介しました。今後のツアー商品化を見据えた第一歩となる取り組みです。



11月22日、山口大学公開講座が萩で開催されました。白井専門員による萩ジオパークの取り組み紹介や笠山での火山実験に加え、山口大学の楮原准教授による城下町を舞台にしたフィールドワークを実施。地形の専門家と一緒に三角州の微地形に注目しながら歩くことで、次々と新たな発見が生まれる濃厚な学びの時間となりました。



## 学校現場での授業も続いています。

11月25日、萩市立育英小学校6年生では、理科「大地のつくりと変化」に合わせ、地層や火山の成り立ちが分かる実験を行い、教科書の内容を体験的に理解してもらいました。

また、福栄小中学校6年生では、11月28日、12月5日、12日の3週連続で授業を実施。地元の火山灰（伊良尾尾山）の観察や火山実験をしたり、自分たちが暮らす大地の成り立ちを確かめに現地見学をしたりしました。



福栄小学校6年生 現地見学

## 萩ジオパーク主催イベント予告

この冬から春にかけて予定しているイベントをご案内します。

※各イベントの詳細・申込方法は、萩ジオパーク公式サイト等で順次ご案内します。

### ■ ガイド技術&体験プログラム開発 実践講座

日時：2月7日（土）・8日（日）・21日（土） 各日 9:30～16:30

講師：菊間 彰 氏（一般社団法人をかしや 代表理事）

会場：笠山椿群生林、須佐ホルンフェルス ほか

体験を通してメッセージが伝わるガイド技術や、体験プログラムの開発手法を、実践を交えながら学ぶ研修です。ガイドや教育、体験活動に関わる方におすすめの内容です。



### ■ 食と大地の研究所～阿武町の海藻編～(仮)

日時：2月15日（日） 時間未定

講師：福本真司 氏（あぶナビ） ほか

会場：ABU キャンプフィールド ほか

食と大地のつながりを調査・研究する参加型講座。今回は阿武町奈古を舞台に、身近な食材である海藻を見つめ直し、海と暮らしの関係を探ります。



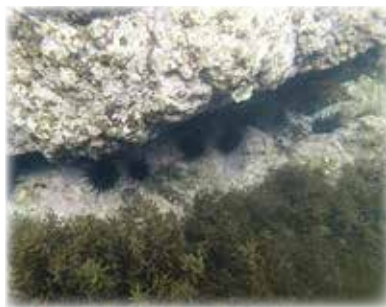
### ■ 萩ジオアカデミー～海藻から見る北浦の海の今～(仮)

日時：3月7日（土） 午後

講師：村瀬 昇 教授（水産大学校）

会場：阿武町町民センター ほか

山口県における海藻研究の第一人者を迎え、講演とフィールド体験を通して、私たちの暮らしを取り巻く海の変化を学びます。海藻観察や押し葉づくりも予定しています。



### ■ 萩ジオパークフェア 2026

日時：3月1日（日） 10:00～16:00

会場：萩・明倫学舎

年に一度の萩ジオパークの祭典！今年度は「萩・明倫学舎の文化祭」とコラボ開催します。会場を「研究所」に見立て、さまざまな実験や体験を通して大地の成り立ちや人とのつながりを楽しく紐解きます。

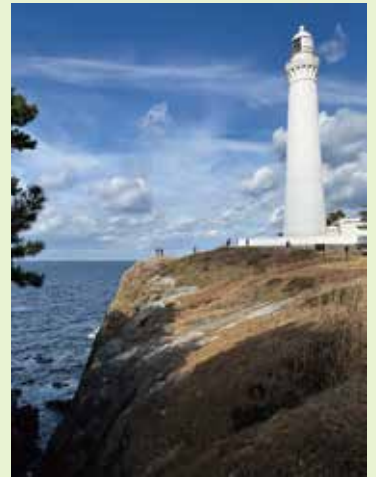


# 島根半島・宍道湖中海ジオパークで、 日本ジオパーク再認定審査の現地調査を視察しました!

萩ジオパークは、平成30年に日本ジオパークに加盟認定された後、令和4年度に1回目の再認定を受け、令和8年度には2回目の再認定審査を受ける予定です。この2回目の再認定審査の参考にさせていただくため、事務局長の堀が11月22日(土)～11月24日(月・祝)にかけ、一足先に行われた島根半島・宍道湖中海ジオパークの再認定審査のうち「現地調査」の視察へ行ってきました。

同ジオパークは島根県松江市・出雲市をエリアとし、「出雲風土記の自然と歴史に出会う大地」というテーマのもと、大地と人のつながりを地域住民など多くの人に伝えることを通じ、自分たちが暮らす地域に誇りを持ち、この地域を守っていくという意識を高める取り組みを行っておられます。現地調査の当日は日本ジオパーク委員会から1名、日本ジオパークネットワークから1名の調査員が来られ、案内・解説看板の点検や、ジオガイドや地域住民、関係機関の方々との対話を通じて様々な取り組みの進捗状況の確認をしておられました。それに対し、同ジオパークの協議会事務局、関係自治体、専門員、大学の方々が一つ一つ丁寧に同行・応対をされ、調査員の方々と活発な意見交換もされていました。

萩ジオパーク推進協議会事務局では、今回の視察で学んだことを大いに参考にさせていただき、来る令和8年度の再認定審査に向け、しっかり準備し対応していきたいと考えています。



島根半島・宍道湖中海ジオパークの重要なジオサイトの一つ、日御碕

## 笠山山頂展望台『鳶ノ巣』カフェ価格改定のお知らせ

平素より笠山山頂展望台『鳶ノ巣』カフェをご利用いただき、厚く御礼申し上げます。

この度、昨今の原材料や電気代の高騰により、令和8年1月17日からメニューの価格を改定させていただくことをお知らせいたします。

これからも、皆様によりよいサービスを提供できるよう、スタッフ一同より一層努めてまいりますので、変わらぬご愛顧をお願いいたします。

- ◆ご当地コーヒー「笠山」 ¥500⇒¥600
- ◆コーヒー HOT(ハンドドリップ)/ICE 各¥300⇒¥500
- ◆紅茶 HOT/ICE 各¥300⇒¥500
- ◆萩の夏みかんジュース/サイダー 各¥400⇒¥500
- ◆阿東のりんごジュース/サイダー 各¥400⇒¥500
- ◆長門ゆずきちジュース/サイダー 各¥400⇒¥500
- ◆夏みかんティー HOT ¥300⇒¥500
- ◆バスク風チーズケーキ ¥500⇒¥600

※バスク風チーズケーキのハーフサイズの販売は終了します。

※価格はすべて税込みです。

## 1月～2月上旬の予定

- ガイド技術&体験プログラム開発実践講座 2月7日(土)・8日(日)・21(土) 時間:9:30～16:30 場所:笠山・須佐ほか  
内容:体験型の講座や学校授業に対応するための技術とそれに関するプログラム開発を実践を交えて学ぶ 参加:事前申込要(詳細は萩ジオパーク推進協議会HP参照) 主催・問合せ:萩ジオパーク推進協議会(0838-21-7765)